

横浜市関係

- 2—有隣堂・北京大学図書館主催による「孫文と横浜」展開催（14日）
- 3—アジア太平洋都市間技術協力ネットワーク第一回総会で、初代会長に細郷市長を選出。▽細郷市長、自治医科大学付属病院に入院。15日、東大付属病院に転院。18日から宮原助役が市長職務代理者に
- 4—保土ヶ谷区、区の花（すみれ）、区の鳥（カルガモ）を発表
- 7—国際熱帯木材機関（ITTO）第七回理事会、横浜市で開催。熱帯林保全を目的にした基金の設立を決定
- 10—市内のねたきり老人や重度身体障害者を対象にした市の訪問入浴サービスの利用者、この一年間で三八〇一人
- 11—有隣堂が八十年史を刊行
- 13—市、「よこはま21世紀プラン」見直し計画を発表。▽市、第三十八回横浜文化賞受賞者を発表、演芸場場主本田玉枝さんら五人。
- 15—南部下水道汚泥処理センターが全面完成、本格操業スタート
- 16—市のごみ収集車の模様替えて、来月から色彩デザインの公募を発表
- 18—横浜市立大学創立六十周年記念式典
- 22—横浜市墓地問題研究会、二十一世紀の墓地像について報告書で提言。▽市、

自治体・国・社会

- 1—財団法人神奈川県警バンク設立。▽一円零札問題で連座責富士通に厳重注意、他の大手コンピュータ九社に対しても通達。5—ピアニストのホロピッツ氏死去（85歳）。6—「かながわサイエンスパーク（KSP）」が川崎市高津区にオープン。
- ▽燃系工運汚職事件で東京地裁、自民党と民社党の前代議士二人に有罪の判決。7—大分県別府市の住職が誘拐され、身代金六億円を要求される。翌日、犯人逮捕。▽横浜大洋ホエールズの新監督に須藤氏が就任。▽気候変動に関する国際会議がオランダで開催、地球温暖化対策の宣言を行う。9—中国の鄧小平党軍事委主席が辞任、後任に江沢民総書記。▽東独、国民の西側への旅行と出国自由に踏み切る。ベルリンの壁は事実上消滅。
- 13—島根県大で生体肝移植手術に成功。15—横浜市内の弁護士一家三人が今月三日から行方不明、県警、公開捜査に踏み切る。
- 19—前市長の辞任に伴う川崎市長選挙で社会、共産、社民連推薦の前助役高橋清氏が当選。20—資金運用をめぐる汚職容疑で川崎市職員と証券会社社員を逮捕。

横浜市関係

- 男女共同社会の実現をめざす「第二次よこはま女性計画」をまとめる
- 25—市藤が丘地区センター・緑国際交流ラウンジがオープン
- 27—市内の視覚障害者の団体・グループ、市会議長に点字で作成した陳情書を提出。▽「バルセロナ&ヨコハマシティ・クリエーション」（略称BAY・90）の基本計画が発表される
- 29—市高齢化社会対策指針がまとまる
- 2—「西消防署」地域と共に歩んできた七〇年」刊行
- 4—緑税務署の新庁舎が完成
- 6—「ヨコハマポットサイド」の街づくりに協定が締結される。▽市、庁内で使っている用紙を上質紙から再生紙に切り替える方針を明らかにする
- 7—市、市民などから寄せられたサンフランシスコ地震の被災者への義援金九七三万円を米公使に託す
- 9—市街化区域の貴重な緑を守るために計画された「ふれあいの森林」第一号が鶴見区東寺尾に誕生
- 10—（財）ホームヘルプ協会創立五周年
- 11—市、市民が選んだ今年の十大ニュースを発表、一位は横浜博覧会
- 12—市選挙管理委員会、任期満了に伴う

自治体・国・社会

- 21—民間と官公労組の大同団結による日本労働組合総連合会（新連合）が発足。24—チェコスロバキアで、ヤケシュ書記長、フサーク大統領が辞任。▽リクルート裁判の第一弾として東京地裁で労働省ルートの初公判。
- 26—大関小錦が初優勝。29—新行革審の「国と地方の関係等に関する小委員会」、連合制度の導入など最終報告書をまとめる。
- 1—自民党、食料品の小売段階を非課税とする消費税見直し案を決定。▽フィリピンで国軍将兵が反乱。政府の要請で米軍が出動、七日、反乱終息。2—地中海のマルタ島で米ソ首脳会談が行われ、冷戦の終結を宣言。
- 4—運輸省と新東京国際空港公団、成田空港の二期工事用地内にある空港反対派の団結小屋を強制撤去。8—鶴岡灯油訴訟で最高裁、損害の立証なしと消費者側敗訴の判決。▽香川で警察OBを通じ個人の犯罪照会データが大手信販会社に流出していることが判明。9—作家の開高健氏が死去（58歳）。10—S U R F・8（相模湾アーバンリゾート・フェスティバル）起工式。

1月

▽横浜市長選挙の日程を来年三月二十四日告示、四月八日投票と決める  
 13―「横浜市近代史総合年表」が有隣堂から刊行

14―市、第二回横浜アーバンデザイン国際コンペの募集要項を発表

15―横浜鷹工事協同組合、開港直前に結成された義勇消防組が出初め式で使用した飾り纏（まとい）のひな型八本を寄贈  
 22―MM21地区24街区の開発に関する事業開発提案競技（コンペ）の要綱がまとまる。▽県、横浜、川崎市の三首長懇談会が開かれ、工業制限諸制度をさらに改善推進すること等を決定。▽市交通事業経営問題委員会、鉄道や民営バスとの共通カードの検討など中・長期的な課題への取組みをまとめ答申

25―横浜高速鉄道会社、MM21線の第一種鉄道事業免許を運輸省に申請  
 26―細郷市長、病氣療養のため四選出馬断念を表明

1―市の行政専門職制度がスタート  
 6―横浜美術館で鍋木清方展が開幕（2/8）  
 8―市内の昨年一年間の火災発生件数が八年連続で減少、三〇年ぶりに一〇〇〇件を割る

11―市、鶴見川上流に放流した稚アユの追跡調査結果を発表

核燃料サイクル基地を建設中の青森県六ヶ所村の村長選で凍結派の土田氏が当選。11―消費税廃止法案が野党の賛成多数で参院を通過。14―土地基本法が成立。▽ソ連のノーベル賞受賞者サハロフ博士が死去（68歳）。

16―妻子連れの中国人が北京発の民航機を乗っ取り、福岡空港に緊急着陸。18―最高裁、千葉県議会議員選挙の定数訴訟で格差三・九八倍は合法と判決。20―プッシュ米政権、中米パナマに軍事介入、ノリエガ將軍は逃亡。

21―中国人偽装難民のうち、中国側の引き取りが決まった第一陣三〇一人を強制送還。22―ルーミアアのチャウシェスク政権が崩壊。25日、チャウシェスク夫妻を処刑。25―日本初の凍結受精卵児が市川市で誕生。30―ニュージランドで邦人客らに乗せた遊覧機が接触、墜落、二人死亡、五人不明。

1―川崎市で市民オンブズマン室発足。3―パナマ市のバチカン大使館に政治亡命中のノリエガ將軍、米麻薬取締局に逮捕される。5―川崎市の武蔵工業大学原子力研究所の研究用原子炉で冷却水漏れ事故が発生していることが判明。8―海部首相、ポーランド、ハンガリーを含む

12―高齢化社会を考えるシンポジウム「本音でトークく人生八十年 もっと輝いて」開催

13―瀬谷区に音の鳴る木橋「赤関おとなり橋」が完成、渡り初め式が行われる

14―市消防出初め式が、みなとみらい地区で行われる

15―成人式が横浜アリーナで開催。市内の新成人は五万六一四七人

18―横浜開港資料館で「着色写真に見る明治の日本」展が開幕（2/4/30）

22―市会水道交通委、道志川沿いのゴルフ場建設問題で現地視察、道志村に計画見直しを申し入れる。▽市、港北区鳥山町に建設する「障害者スポーツセンター」の概要を発表

24―戸塚区に療養老人に対するケア目的の地域ケアサービス総合調整推進会議発足

25―「生涯学習フォーラム」が開かれる

27―横浜マリタイムミュージアムで「日本の客船展」開幕

28―市、先端技術産業等振興助成制度の平成元年度対象企業三八件を発表

29―市、臨海部ポートサイド地区の業務ビル売却先候補二社を決定。▽市、平成元年度の「横浜まちづくり功労者賞」受賞者などを決定

31―西武不動産など八社、八景島開発計画のための新会社「横浜八景島」を設立

欧州八カ国と西ベルリン、EC本部歴訪に出発。10―春日野清隆（元横綱折錦）氏が死去（64歳）。11―北京市の戒厳令、八カ月ぶりに解除。13―ソ連アゼルバイジャン共和国で民族衝突。20日、ソ連正規軍が首都バクーに進攻、市内を制圧。▽スペインのサラゴサ市のデイスコで火災、四三人死亡。15―旭川市の若手経済人グループ、市長選の候補者を全国から公募することを開始。16―民事行政審議会、一―八字を人名用漢字に追加するよう法相に答申。18―本島長崎市長、右翼団幹部に短銃で撃たれ、重傷。▽最高裁、伝習館訴訟で三教師の免職処分は妥当と判示。19―「市民の暮らしから明日の都市を考える懇談会」が中間報告を発表。▽国税庁、最高路線価を発表、全国平均二八・七％の上昇。22―東京上野のJR御徒町ガード下の新幹線工事現場で道路が陥没。▽韓国の民生、民主、共和の三与野党が合同、新党を結成。23―「首都機能移転問題に関する懇談会」の初会合が開かれる。24―衆院が解散。総選挙は二月三日公示、二月十八日投票。28―大阪のマンション建設現場で九階のベランダが崩落、下請会社の作業員三人が死亡。

1―川崎市で市民オンブズマン室発足。3―パナマ市のバチカン大使館に政治亡命中のノリエガ將軍、米麻薬取締局に逮捕される。5―川崎市の武蔵工業大学原子力研究所の研究用原子炉で冷却水漏れ事故が発生していることが判明。8―海部首相、ポーランド、ハンガリーを含む